

策定委員会でいただいた主な意見

第 1 回策定委員会(R2.9.8)	計画への反映や今後の方針等
グループホームの運営について、市として具体的にどういった動きがとれるか検討していただいたほうが、一法人が実際に境港市でグループホームを作ることにつながっていくのではないか。	グループホームの整備については、西部圏域の事業所との意見交換での内容等も含め、市でどういったことができるか検討するなどし、引き続き取り組んでいきます。
コロナのことも盛り込まないといけない。	22 ページに、新型コロナウイルス感染症等に関する内容を盛り込んでいます。
誠道小学校の跡地も活用していけたらいいのではないか。	誠道小学校の跡地の利用については、市内で検討委員会が設置され活用方法について話し合いが進められています。

第 2 回策定委員会(R2.11.20)	計画への反映や今後の方針等
数値で表されていないプランの進捗状況や境港市の現状を示してほしい。	今回、資料 3 として示しています。
子どもの支援だけでなく、お母さんを中心としたご家族の支援も必要ではないか。	21 ページに、発達障がいのある児童やその家族に対する支援については、盛り込んでいます。健康推進課、子育て支援課と連携しながら支援をしていきたいと思えます。
境港市の特色の一つとして、精神障がいの関係等で健康推進課で取り組んでいる資料があれば、提示してほしい。	今回、参考資料として提示しています。
近年、発達障がいのお子さんが増加しており、放課後等デイサービスに入ってお子さんも増えていると思う。見込量としてかなり増えるのではないか。何かプラス α の方策が必要ではないか。	放課後等デイサービスの見込量に関しては、令和元年度に比べかなり増加する見込みとなっております。現在、児童発達支援を利用されている方や放課後等デイサービスの利用が終わる方などを考慮して、見込量を積算した結果、前回お示しした見込量は妥当と考えます。 今後は、市内等の事業所だけではなく、米子市の事業所を利用していただくことも考えられます。なお、大篠津町に移転された事業所があり、今後は、境港市のお子さんの受け入れが増える予定です。 また、新たに事業所を設置される場合で、要件に該当する場合は、境港市民間障がい者福祉施設整備費等補助金の交付もおこなっていきます。

第2回策定委員会(R2.11.20)	計画への反映や今後の方針等
小さい病院や施設で、車椅子でそのまま入れないこともあるので、車椅子で入れるように整備を進めてほしい。	境港市福祉のまちづくり推進事業により、市では誰もが住みやすいまちづくりを目指し、既存の建築物のバリアフリー改修に対して費用の一部を補助しています。
成年後見の中核機関についてプランに記載したほうがよいのではないか。	プランの28ページに追記しました。